

取扱説明書



ディスクグラインダ MRO-200DG

注文コード:20642922

このたびは、ディスクグラインダMRO-200DGをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用をされる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解を
されたうえで、適切な取扱いと保守をしていただきますようお願いいたします。



二重絶縁

警告

- 身の安全を守るために、使用前に本取扱説明書を読み理解してください。
- 今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

警告

- 本取扱説明書を最後までお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解してください。また、本取扱説明書の指示に従い適切な取扱いと保守をしていただきますようお願いいたします。本取扱説明書に記載する指示に従わない場合、感電、火災または人身事故につながる可能性があります。
取扱いに不慣れな人や、正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 「注意」に記載した事項でも状況によっては、重大な事故に結びつく可能性がありますので、必ずお守りください。



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容



警告

A.作業環境

- 1.作業場は整理整頓をして、十分な照明を使用してください。散らかった作業台や暗い場所での作業は事故を招きます。
- 2.ディスクグラインダは爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんなどがある環境では使用しないでください。
ディスクグラインダは、粉じんまたはヒュームを発生させることがある火花を発生させることがあります。
- 3.ディスクグラインダの使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなり、操作を誤る原因になります。その結果、けがをするおそれがあります。

B.電気に関する安全事項

- 1.ディスクグラインダのプラグを差し込む前に、電圧がディスクグラインダの銘板に印した電圧(AC100V)であるか確かめてください。AC100V以外の電源で使用しないでください。
どのような場合でも、プラグは絶対に改造をしないでください。
- 2.パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされたものに身体を接触させないでください。作業者の身体が接触した場合は、感電の危険が増大します。湿気の多い場所ではディスクグラインダは使用しないでください。
ディスクグラインダを屋外で使用される際には、以下の3.から5.に注意してください。
- 3.ディスクグラインダを雨や湿気にさらさないでください。ディスクグラインダに水が入ると感電の危険が増大します。
- 4.コードを乱暴に扱わないでください。コードを用いてディスクグラインダを運んだり、プラグを抜いたりしないでください。
コードは熱、油、角のとがったところまたは動くものから離れてください。コードが損傷した場合はすぐに使用をやめてください。
損傷したコード、絡まったコードの使用は感電の危険が増大します。
湿度の高い場所でのディスクグラインダの使用が避けられない場合は、感電防止のため、漏電遮断器を使用してください。
- 5.ディスクグラインダを屋外で使用する場合には、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。

C.作業者に関する安全事項

- 1.ディスクグラインダの使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。
疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、ディスクグラインダを使用しないでください。
ディスクグラインダを使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
- 2.安全保護具を必ず使用してください。常に保護めがねを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。
- 3.偶発的な始動を避けてください。プラグに差し込む前に必ずスイッチを「オフ OFF」にしてください。
スイッチに指を掛けてディスクグラインダを運んだり、スイッチが「オン ON」の状態ではディスクグラインダのプラグを差し込むと、事故につながるおそれがあります。
- 4.ディスクグラインダのスイッチを「オン ON」にして電源を入れる前に、フランチレンチなどを取り外してください。
ディスクグラインダの回転部に、フランチレンチなどを付けたままにしておくと、人身事故を起こすおそれがあります。
- 5.無理な姿勢で作業をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ってください。適切な足場とバランスを保つことで、予期しない状況でもディスクグラインダをより適切に操作をすることができます。
クランプまたは他の実用的な方法を用いて、工作物を安定した台に固定し、支えてください。
工作物を手で抱えたり、体に押し付けたりすると不安定になり、制御を誤ることがあります。

警告

- 適切な衣服を着用して作業をしてください。サイズが大きい衣服や装飾品を身に着けないでください。長髪は束ねてください。髪、衣服、手袋は可動部から離してください。サイズが大きい衣服、装飾品または長髪は、可動部に巻き込まれるおそれがあります。ハンドルはオイルやグリースの付着がなく、乾燥した清潔な状態に保ってください。
- 集じん装置を使用すれば、粉じんによる人体への影響を軽減できます。

D. ディスクグラインダの使用および手入れ

- ディスクグラインダを無理に使用しないでください。用途に適したディスクグラインダを使用してください。用途に適したディスクグラインダは、より適切、かつ、安全な作業ができます。
- スイッチで始動及び停止操作のできない場合、そのディスクグラインダを使用しないでください。スイッチで制御できないディスクグラインダは危険ですので修理してください。
- 調整を行う前、砥石などの付属品を交換する前、ディスクグラインダを保管をする前には必ず電源からプラグを抜いてください。そうした安全予防対策で、ディスクグラインダが偶発的に始動する危険が軽減されます。
- 使用しないディスクグラインダは、子供の手の届かないところに保管してください。ディスクグラインダの扱いに不慣れた作業員にはディスクグラインダを使用させないでください。ディスクグラインダに不慣れた作業員が扱うと危険です。
- ディスクグラインダの保守を行ってください。ディスクグラインダの動作に影響するおそれがある可動部分の心ずれ、または締付け状態、部品の破損及びその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前にディスクグラインダの修理を行ってください。ディスクグラインダの保守が不十分であることが、多くの事故の原因となっています。
- ディスクグラインダは丁寧に扱ってください。先端工具は鋭利かつ清潔な状態にしておいてください。先端工具は適切に整備をしてください。鋭利かつ清潔な工具は滑らかに動き、操作が容易です。事故の原因になりますので、使用される先端工具については、それらの取扱説明書に従って使用してください。
- 改造は誤用に繋がり、危険な状況になることがあります。

E. 整備

部品の破損、および操作に差し障る状態がないかチェックしてください。損傷がある場合は、使用しないでください。多くの事故は整備の不良でおこります。ディスクグラインダの整備は有資格の方のみが行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。ディスクグラインダを整備する場合は、純正交換部品のみを使用してください。

本製品を安全にお使いいただくために

本製品は、研削、研磨、切断工具です。けがの原因になりますので、これ以外の作業は行わないでください。

本製品をご使用の際には、下記に述べる警告・注意事項もお守りください。

このディスクグラインダは、グラインダ、サンダ、ワイヤブラシ、又は切断工具として機能するように意図されています。このディスクグラインダとともに提供されるすべての安全警告、取扱説明書をお読みください。下記に列挙するすべての指示に従わなかった場合、感電、火災、大ケガをまねくことがあります。

警告

1. このディスクグラインダで、つや出し、ホイール切断などの作業を実施することは推奨しません。ディスクグラインダの設計対象でない作業は、危険を生じ、人身傷害の原因となることがあります。
2. 当社ブランド品以外の先端工具は使用しないでください。単にディスクグラインダに取り付けることが出来るというだけでは、先端工具は安全作業を保証しません。
3. 先端工具は定格速度がディスクグラインダに表示されている定格速度以上のものを使用してください。先端工具の定格速度以上で回転をさせると、先端工具が飛散して、ケガをするおそれがあります。
4. ディスクグラインダに推奨されている外径、および厚さの先端工具を使用してください。ケガをするおそれがあります。
5. ホイール、フランジ、裏あてパッド、その他の先端工具の取付穴径は、ディスクグラインダのスピンドルに適切にかん（嵌）合しなければなりません。ディスクグラインダの取付金具に合わない取付穴をもつ先端工具は、平衡を失い、過剰に振動し、制御の喪失をもたらすことがあります。
6. 破損した先端工具は使用しないでください。
ディスクグラインダの使用前、または新しい先端工具を取り付ける前に、先端工具に欠けや割れ目がないか、確認してください。
不具合が見つかった先端工具は使用しないでください。
7. 欠けや割れを避けるために、ディスクグラインダと先端工具は扱いに注意をしてください。
作業中に先端工具が落下した場合、新しい先端工具を取付けてください。
8. 損傷しそうな先端工具を使用しないでください。操作中に破壊される先端工具の破片は高速で飛び散り、作業者や子供および第三者を直撃する可能性があります。非常に危険です。
9. ディスクグラインダの使用には適切な衣服を着用してください。微細な先端工具の破片や工作物の破片を防ぐことができる保護面が安全眼鏡、防塵マスク、耳栓、手袋および業務用エプロンを着用してください。目の保護は、様々な作業で発生する飛散破片を止めることができません。防じんマスク又は呼吸マスクは、作業で発生する粒子をろ過できません。高いレベルの騒音への長時間の暴露は、聴覚損傷をもたらすことがあります。
10. 周囲の人を作業領域から安全に隔離してください。作業領域に入る人は、作業者用保護装置を着用しなければなりません。加工品又は破損した先端工具の破片が飛び散って、作業領域周辺を越えてケガをもたらすことがあります。
11. 切断用先端工具が、隠れた配線又はディスクグラインダ自身のコードと接触することがある作業を実施するときは、絶縁されたグリップ面だけでディスクグラインダを保持してください。切断用先端工具が電氣的活線と接触するとディスクグラインダの露出金属部は電氣的充電部となり、作業者に電撃を与えることがあります。
12. 電源コードは回転する先端工具や研磨用付属品から離してください。手や腕にコードを巻き付けないでください。制御不能になります。コードが手や腕に巻き付いた場合、抜けられずに負傷することがあります。
13. スイッチを「オフOFF」にした後、先端工具が完全に停止してからディスクグラインダを床に置いてください。先端工具が完全に停止せずに床に置くとディスクグラインダが思わぬ動きをして、ケガをするおそれがあります。
14. ディスクグラインダを身体の横にもっている間は、運転しないでください。回転先端工具との不測の接触で着衣が引っかかり、回転先端工具を身体に引き込むおそれがあります。
15. ディスクグラインダの換気口を定期的に圧縮空気で清掃してください。モータ収納部内の粉末金属の過剰な蓄積は電氣的故障をおこすことがあります。可燃物の近くで研削や研磨、切断作業を行わないでください。
先端工具からの火花が可燃物に引火するおそれがあります。
16. 感電のおそれがありますので、水や切削液などをかけて使用しないでください。
17. キックバックを最大限制御するために補助ハンドルを使用してください。補助ハンドルのないディスクグラインダの操作は、ディスクグラインダの制御を失い重傷を負うことがあります。
18. ケガのおそれがありますので、回転中の先端工具や工作物に手や顔を近づけないでください。
19. キックバックが発生したときにディスクグラインダが進む領域に身体を置かないでください。
キックバックは、引っかった時点のホイールの運動と反対の方向へディスクグラインダを進めます。
20. コーナーや鋭利な端などを加工している時は、先端工具の跳ね返りやケガに注意してください。
キックバックが起こり制御不能になることがあります。
21. 木工用チェーンのこ（鋸）歯又は歯付きのご歯を取り付けないでください。
これらの歯は、頻繁なキックバック及び制御不能を引き起こします。
22. 砥石には常に適切な砥石用カバーを使用してください。砥石用カバーは破壊される砥石の破片から作業者を保護します。
23. 砥石を使用する時は常にディスクグラインダの適切な部分に砥石用カバーを取付け、ディスクグラインダを操作する側から最小限の砥石が露出するようにしてください。

警告

24. ディスクグラインダをサンダとして使用した後、研削を再開する時は、研削する前に適切な砥石用カバーを再度取付ける必要があります。ディスクグラインダには常に砥石用カバーを取付け、最大の安全のために、ディスクグラインダを操作する側から最小限の砥石が露出するようにしてください。
25. それぞれの先端工具は適切な用途以外で使用しないでください。切断用先端工具の側面で研削はしないでください。破損やケガの原因になります。
26. 常に、選択した先端工具に対応する適切なサイズ及び形状の、破損していない押えナット・ワッシャーを用いてください。適切な押えナット・ワッシャーは先端工具を保持するので、先端工具破損の可能性を減少させます。切断用の押えナット・ワッシャーは、オフセット用の押えナット・ワッシャーと向きが異なっています。
27. 最大サイズ以上の先端工具、またはより大きいサイズからの摩耗もしくは、破損した先端工具を使用しないでください。大径ディスクグラインダ用砥石は、小径ディスクグラインダの高速に適しません。それらの砥石は容易に破壊され、破片が作業者や子供および第三者を直撃することがあり非常に危険です。
28. 切断用先端工具を使用するときは、過剰な力で押し付けたり、過剰な深さで切断をしないでください。先端工具が破損したりモーターが焼けてしまい、キックバックやケガの原因になります。
29. 切断中にキックバックをおこすと、ディスクグラインダおよび回転した切断用先端工具が身体に向かってきて、事故になるおそれがありますので、回転中の先端工具の切断線上には体を置かないでください。
30. 切断作業を行っているときに、先端工具が動かなくなったり、または、何らかの理由で切断を中止しているときは、ディスクグラインダのスイッチを「オフOFF」にして先端工具が完全に停止するまでディスクグラインダが動かないように保持してください。
キックバックをおこす場合がありますので、先端工具が動いている間は切断部から取り外さないでください。先端工具の不具合の原因を調べて、それを除去するための是正処置を講じてください。
31. キックバックなどの意図しない反動を引き起こすおそれがありますので、加工途中の材料で切断作業を再始動しないでください。
先端工具を材料から外し、ディスクグラインダを再始動させ回転が全速になってから切断を再開してください。
32. キックバックなどの意図しない反動を引き起こすおそれがありますので、大きな材料や板状の材料を加工する場合は、必ず材料を固定してから作業をしてください。材料の自重でたわむことがありますので、切断をする部分の近くと材料の両端の下側には支持台を設置してください。
33. 既存の壁や見えない部分への切断（切込みなど）を行う場合は、壁裏にあるガス管や水道管、電気配線を切断したり、キックバックを引き起こす原因になるものを切断してしまうおそれがありますので、特に注意をしてください。
34. 研磨時には大きすぎる研磨ディスクを使用しないでください。大きな研磨ディスクは研磨パッドを超えて広がり、思わぬ事故、ディスクの断裂または反動を生じます。研磨パッドを超えて広がる余分なペーパーも重度の裂傷をおこすことがあります。
35. 先端工具で電源コードを切断しないように注意してください。誤って切断したり傷をつけた場合は、作業者が感電するおそれがありますので、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
電源コードに先端工具を近づけないでください。可動中に電源コードが引っかかり、ケガをするおそれがあります。
36. 研削、研磨、切断作業に凹んだ先端工具を使用しないでください。過負荷で破損することがあります。
37. ディスクグラインダを木の板には使用しないでください。キックバックがおこったり、制御不能になることがあります。
38. 先端工具が破損した時にケガをするおそれがありますので、先端工具を上向きにして使用しないでください。
39. 使用中に調子が悪かったり、異音がしたときは、すぐにスイッチを「オフOFF」にして使用を止めてください。
40. 砥石の取替および試運転は、法・規則で定められた有資格者が行ってください。
41. 切断作業を行う時は、必ず別売の切断砥石用カバーを取付けてください。

注意

1. 使用前に必ず人のいない方向に向けてディスクグラインダを無負荷で操作してください。
試運転時間は、砥石を交換したとき・・・3分以上
その日の作業ははじめのとき・・・1分以上
2. 先端工具や付属品は、確実に取付けをしてください。ディスクグラインダから外れてしまうと、ケガの原因になります。
3. 高所で作業をされるときは、下に人がいないことを必ず確認してください。ディスクグラインダや先端工具、付属品、工作物が落下すると事故の原因になります。

構成部品および制御装置



付属品

本体には、以下の付属品が同梱されています

- 補助ハンドル1個
- レンチ1個
- 砥石用カバー1個

技術資料

型式	MRO-200DG
電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	670W
定格速度	11000min ⁻¹
研磨砥石のサイズ	φ100×φ15×6mm
スピンドルねじサイズ	M10×P1.5
重量	1.8kg

警告

- 付属品の組立て、調整または変更をする前に、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源コンセントから電源プラグを抜くことは、ディスクグライндаが偶発的に始動する危険を減らします。
- 使用前に必ず電源の電圧をチェックしてください。必ず本製品に表示されているAC100Vで使用してください。
- 必ず付属の部品を使用してください。

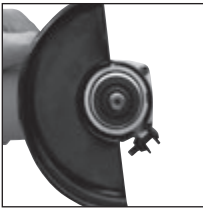
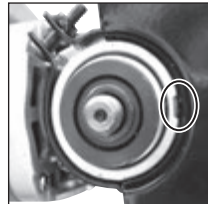
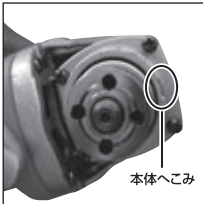
1. 砥石用カバーの取付け

警告

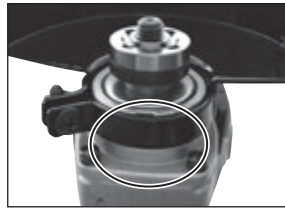
- 砥石用カバー(下図の1)を取付けるとき、取外すとき、調整をするときは、必ずスイッチを「オフ OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 砥石用カバーは必ず取付けてください。
- 取付けた後、ご使用前には、必ず砥石用カバーがしっかりと固定されているかを確認してください。しっかりと固定されていない場合は、けがの原因になります。
- 切断作業には切断砥石用カバーを取付けてください。
- どんな作業条件であっても砥石用カバーは取外さないでください。

取付け

1. 下記写真の通り、カバーの出っ張りと本体へこみを合わせます。



2. カバーを左写真と同じ角度まで回転させ、ドライバーでネジを閉めます。



3. 正しい位置にセットされている場合、左写真丸部分の通り、通り隙間がない状態になります。

取外し

砥石用カバーのネジをゆるめ、砥石用カバー(右図の1)を取外してください。



2. 砥石の取付け

警告

- 砥石を取付けるとき、取外すとき、調整をするときは、必ずスイッチを「オフ OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 作業条件に従い、常に適当なタイプの砥石および厚みを選んでください。
- 砥石の取付け穴は、取付けフランジに合う必要があります。アダプターなどは使用しないでください。

① オフセット砥石

注意

- 砥石用カバーを必ず取付けてください。
- 表示ラベルに記載された直径より大きい砥石は絶対に使用しないでください。
- 砥石の最高使用回転数は、表示ラベルに記載された回転数より大きくなければなりません。
- オフセット砥石は外径100φmm以下、厚さ6mm以下、穴径15φmm、最高使用周速度72m/s(4300m/min)以上のものを使用してください。

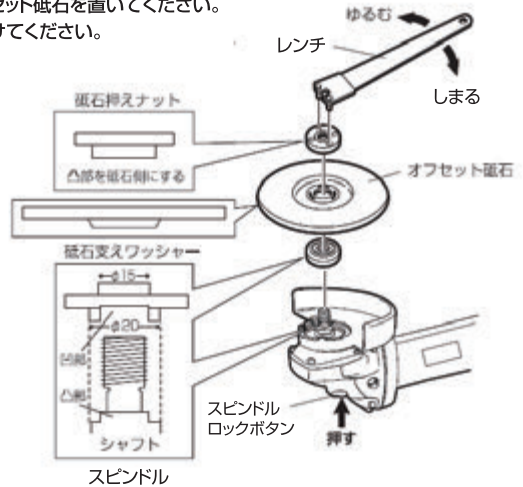
1.砥石を取付けるには、スピンドルロックボタンを深く押し続けて、スピンドルをロックしてください。

必要に応じて所定の位置にロックされるまで、手で少しスピンドルを回してください。

2.砥石支えワッシャーを図の通りに置いてください。その上にオフセット砥石を置いてください。

その後、砥石押えナットを凸部を砥石側にしてスピンドルに取付けてください。

3.付属のレンチを使い、しっかりと固定をしてください。



②切断砥石

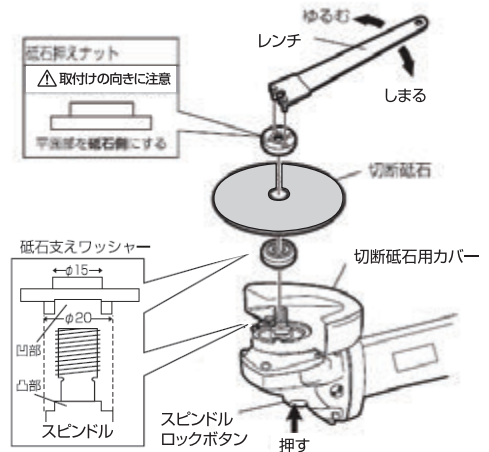
注意

- 切断砥石を使用される場合は、別売品の切断砥石用カバーを必ず取付けてください。
- 切断砥石は外径100～106φmm、穴径15φmmのものを使用してください。

1.砥石を取付けるには、スピンドルロックボタンを深く押し続けて、スピンドルをロックしてください。必要に応じて所定の位置にロックされるまで、手で少しスピンドルを回してください。

2.砥石支えワッシャーを図の通りに置いてください。その上に切断砥石を置いてください。その後、砥石押えナットを平面部を砥石側にしてスピンドルに取付けてください。

3.付属のレンチを使い、しっかりと固定をしてください。



警告

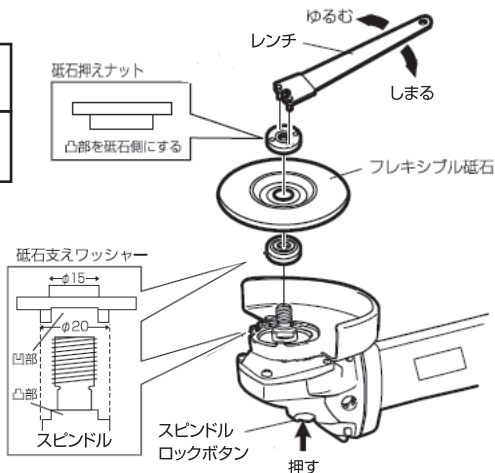
- 作業を始める前に、必ず人のいない方向に向けてディスクグラインダを無負荷で3分間以上試運転を行なってください。
- 振動する砥石は、すぐに交換してください。
- 常に作業領域から子供および第三者、可燃材料を遠ざけてください。
- ディスクグラインダを始動する前に、常に切断砥石用カバーおよび砥石が適切な位置になるようにしてください。

③フレキシブル砥石

⚠ 注意

- 砥石用カバーを必ず取付けてください。
- フレキシブル砥石は外径100φmmのものを使用してください。

- 1.砥石を取付けるには、スピンドルロックボタンを深く押し続けて、スピンドルをロックしてください。
必要に応じて所定の位置にロックされるまで、手で少しスピンドルを回してください。
- 2.砥石支えワッシャーを図の通りに置いてください。
その上にフレキシブル砥石を置いてください。
その後、砥石押えナットを凸部を砥石側にしてスピンドルに取付けてください。
- 3.付属のレンチを使い、しっかりと固定をしてください。



⚠ 警告

- 作業を始める前に、必ず人のいない方向に向けてディスクグラインダを無負荷で3分間以上試運転を行なってください。
- 振動する砥石は、すぐに交換してください。
- 常に作業領域から子供および第三者、可燃材料を遠ざけてください。
- ディスクグラインダを始動する前に、常に砥石用カバーおよび砥石が適切な位置になるようにしてください。

④カップブラシ、ベベルブラシ

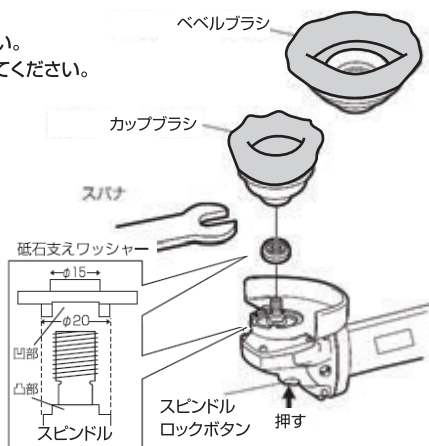
⚠ 注意

- 砥石用カバーを必ず取付けてください。
- ネジ寸法はM10のものを使用してください。
- カップブラシは外径75φmm、ベベルブラシは外径85φmmのものを使用してください。
- カップブラシ、ベベルブラシの取付け、取外しにはスパナが必要になります。本製品の付属品には含まれていませんので、スパナの用意をお願いします。

- 1.カップブラシ、もしくはベベルブラシを取付けるには、
スピンドルロックボタンを深く押し続けて、スピンドルをロックしてください。
必要に応じて所定の位置にロックされるまで、手で少しスピンドルを回してください。
- 2.砥石支えワッシャーを図の通りに置いてください。
その上にカップブラシ、もしくはベベルブラシを置いてください。
- 3.お手持ちのスパナを使い、しっかりと固定をしてください。

⚠ 警告

- 作業を始める前に、必ず人のいない方向に向けてディスクグラインダを無負荷で3分間以上試運転を行なってください。
- 振動するカップブラシ、もしくはベベルブラシは、すぐに交換してください。
- 常に作業領域から子供および第三者、可燃材料を遠ざけてください。
- ディスクグラインダを始動する前に、常に砥石用カバーおよびカップブラシ、もしくはベベルブラシが適切な位置になるようにしてください。

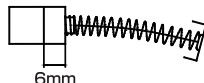


3.カーボンブラシ交換



警告

カーボンブラシを交換するときは、必ずスイッチを「オフ OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



カーボンブラシの交換方法

注意：カーボンブラシは2個で1セットです。交換をする時は必ず2個とも交換してください。
カーボンブラシの長さが6mm以下になりましたら、2個とも同時に交換してください。

カーボンブラシの取外し方



1.カバーの後ろのネジを締めてください。



2.カバーを開けてください。



3.カバーを開けると上記の構造になっています。



4.ラジオペンチでブラシの差込端子を抜取ってください。



5.マイナスドライバーでブラシを固定しているスプリングを持ち上げて、ブラシを外してください。

カーボンブラシの取り付け方



1.マイナスドライバーでスプリングを持ち上げて、新しいブラシを入れてください。



2.ラジオペンチでブラシの端子を差込んでください。



3.カバーを取付けてください。



4.カバーの後ろのねじをしっかりとめてください。

注意：ブラシキャップを取付ける前に、ブラシホルダ内でカーボンブラシが滑らかに動くかを確認してください。

4.補助ハンドル



警告

補助ハンドルを取付けるとき、取外すときは、必ずスイッチを「オフ OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



補助ハンドルは、左右のどちらか一方の取付になります。



注意

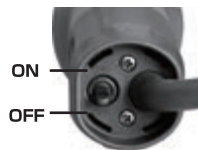
- ディスクグラインドは、両手で使用してください。
- 補助ハンドルは確実に最後までねじ込んでください。確実にねじ込んでいないと補助ハンドルが外れてしまい、けがの原因になります。
- 補助ハンドルは左右のどちら側にも取付けることができます。作業のしやすさにより、どちらか一方に取付をしてください。

5.ON/OFFスイッチ



警告

- 偶発的な始動によるけがのおそれがありますので、電源プラグをコンセントに差込む前に、必ずスイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
- けがのおそれがありますので、ディスクグラインドは確実に保持してください。始動時は特に注意をしてください。



後部のレバーで、「オン ON」または「オフ OFF」に切り替えができます。（本製品には、「ON」、「OFF」と記載しています。）
レバーを「ON」にすると始動します。レバーを「OFF」にすると停止します。

6.各種ねじの点検について

各種ねじなどにゆるみがないかを定期的に点検してください。もしゆるみがある場合は、確実に締めなおしてください。

7.使用後のお手入れについて

破損・故障の原因になりますので、ガソリン、シンナー、石油類、アルコール類、洗剤での清掃は行わないでください。

故障・感電の原因になりますので、水洗いは絶対に行わないでください。

油汚れなどが著しい場合は、石けん水をつけた布で本体を拭いていただき、その後乾いた布で水分が残らないように拭取ってください。

8.電源コードの交換について

電源コードの交換が必要な場合、危険を防止するため、株式会社MonotaROに修理を依頼してください。

9.保管について

- 使用しないときは、直射日光のあたらない乾燥した場所に保管をしてください。
- お子様の手の届かない安全な場所に保管をしてください。
- 落下のおそれがある場所には保管をしないでください。
- カギのかかるところに保管をしてください。

警告

- 先端工具が破壊したときにけがの原因になりますので、砥石用力バー、もしくは、切断砥石用力バーは必ず取付けて使用してください。
- 先端工具にヒビ、割れなどの異常がないかを確認してください。異常があると、先端工具が破壊したときにけがの原因になります。
- 事故の原因になりますので、作業中は子供及び第三者を近づけないでください。
- ディスクグラインダは爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんなどがある環境では使用しないでください。
- ディスクグラインダは粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生させることがあります。

注意

- 先端工具や付属品は取扱説明書に従って確実に取付けをしてください。
- 加工物を損傷させたり、切削粉やゴミを吸い込んだり、先端工具の破損の原因になりますので、ご使用後は、スイッチを「オフ OFF」にして先端工具が完全に停止してから、安全な場所に置いてください。

研削作業

警告

けがの原因になりますので、オフセット砥石の全面を加工物にあてたり、加工物に垂直にあてたりしないでください。

先端工具は右図のように加工面に対して
15°~30°に傾けて使用をしてください。



注意：加工物に強く押しあてて研削すると、モーターの回転が落ちて、モーター焼けの原因になります。
また、先端工具に危険な負荷がかかり、けがの原因になります。